

# 週 報

1995年11月26日 降誕前第5主日

収穫感謝日 謝恩日

巻16 35号

1995年度教会主題

「恵みに生きる」

聖句 すると主は、「わたしの恵みはあなたに十分である。力は弱さの中でこそ十分に発揮されるのだ」と言われました。

コリントの信徒への手紙 二 12章9節a

- 目標
1. 生活を整えて礼拝、諸集会を守る。
  2. 一人一人が伝道と奉仕を。

日本キリスト教団 横浜港南台教会

〒234 横浜市港南区港南台 7丁目-8-29

電 話 045-833-5323

ファックス 045-833-6616

振 替 00290-4-13994

牧 師 秋 吉 隆 雄

とラクダで登る人に分れた。モーセは道なき岩山を一人徒歩で登ったに違いない。山頂で輝かしい日の出を見、讃美歌を歌い、手をつないで祈りを捧げた。白い岩肌の山々が朝日に赤く燃える。まさに「神の山」のように神々しい。しかし、人、人、人の山。ところが昼食を食べたヌエバ 夕方、辿り着いたエーラットもアカバ湾に面する温暖な避暑地で、ヨーロッパ人が多いらしい。

17日(金) 大渓谷、大荒野を展望し、その一端を歩いて出エジプトの民の苦難を追体験する。夕方、死海で S、Y、A の三嬢(?)が築々とシンクロナイズドスイミングを共演する。

18日(土) 紀元後70年にエルサレムは陥落したが、最後までローマ軍に抵抗したマッサダの砦にケーブルカーで登る。今世紀最大の発掘といわれる死海写本が発見されたクムランの遺跡を見学する。モーセの後継者ヨシュアがカナン侵入後、最初に陥落させたエリコを見る。ザアカイが主イエスに声かけられた町である。

次週に新約編を報告する。

## 一牧師室より一

シナイ半島とイスラエルの旅の主な見学地を記す。詳しくは「若木」特集号をご期待ください。

14日(火) 貴重な遺跡が倉庫に雑然と並べられているようなエジプト博物館を見学。巨大なピラミッドを見上げ、中に入る。風化で削られたスフィンクスを見る。近くまで町が迫っていた。

15日(水) 出エジプトの出発点だったと言われる旧ゴシェン地方からバスでスエズ運河の海底トンネルを抜け、アジア大陸に入る。出エジプトの民が水飢饉に苦しんだメリバを通りシナイ山麓に到着。この間、荒涼たる荒野が果てしなく続く。バスが白まるとベドウィンの物売りが群がる。とても人間の住める所とは思えない。

16日(木) 早朝からモーセが十戒をいただいたという険しいシナイ山頂を目指して満天の星空を仰ぎながら登る。徒歩で登る人